

指導と評価の年間計画（2008・H20年度）

教科	科目	開設学年	単位数	教材名等
(学) 総合	幼児・児童教育	3	3	発達と保育・発達と保育学習ノート

到達目標	子供の心身の健全な発達に、家庭及び社会の果たす役割の重要性を認識させるとともに、子供の成長段階において保育・教育が果たす役割の基礎的知識と技術を習得させる。そのため、保健体育科、芸術及び家庭科がそれぞれの知識や技術を通じて必要な能力と態度を育てる。
到達目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の】留意点	○ 子供の自由な発想力を伸ばせるような絵画技法の習得。 ○ 子供の知的好奇心を生み出すための絵画表現の工夫。 ○ 表現内容に応じた発声の工夫。 ○ キーボード奏法の習熟。 ○ 即興的な演奏や自由な創造表現を高める。 ○ 資料の提示や生徒自身が考えて記入するワークシートを多くする。

学期	進度（単元・章・項）	指導内容（項目／活動）	評価方法等	評価のポイント
1 学 期	(体育) 身体表現運動（基本）	リトミック①。	規定の動きの完成度。 マット運動。	太鼓に合わせて規定動き（手足のリズム）の完成度、指先や肘の曲げ伸ばしを大きく表現しその完成度において評価する。 柔軟性とバランスを組み合わせた動きを多種類行い、自分の体の動きに気づく。
	(美術) デッサン	受験対策として基本的な技術の習得	作品点 取り組み態度 平常点	意欲的に取り組んでいるか。
	(音楽) ●歌唱 「コールユーブンゲン」 「コンコーネNo.50 中声用」 童謡、日本の歌 ●キーボード演奏 「ハ長調の音階」 簡単な小曲	発声の基本を育て、階名で歌うことにより視唱力を付けさせる。 旋律の歌い方、フレーズの起伏を意識させる。 曲想を感じ取り、表現の工夫をさせる。 鍵盤に慣れさせ、基本的な指使いを学ぶ。奏法の習熟。	「コンコーネ」「コールユーブンゲン」の歌唱テスト。 観察	視唱力。 音程が確実にとれているか。 歌詞及び曲想を生かした表現の工夫ができているか。 表現内容に応じた発声の工夫ができているか。 演奏の習熟度 視奏力

学 期	進度（単元・章・項）	指導内容（項目／活動）	評価方法等	評価のポイント
1 学 期	（家庭） 保育を学ぶに当たって 人間としての発達 発育すること 発達すること	人間発達のなかの乳幼児期 発達観と保育 胎児と新生児の発育 乳幼児の発育 乳幼児の精神発達 人間関係の発達 発達の個別性と保育	レポート。 ワークシート。 筆記テスト。	レポート課題を与えて調べ 学習させ、自分で考える力が 付いているかを評価する。 課題の中には新聞記事等も 取り入れる。 筆記テストについては、保育 を学ぶに当たっての基礎的 な知識が習得されているか を評価する。
2 学 期	（体育） 身体表現運動（応用） （夏期休業中課題） 保育所見学など	ボール運動を中心とした指導。 リトミック②。 音楽との連携により伴奏しながらリ トミック指導の実践。 ABC難度3曲を選択し、伴奏の楽譜 作り。 音楽に合わせて、身体運動を行う。	バスケットボールシ ュート。 プリント。 グループ学習。	シュート率。 2人組による伴奏リトミッ クの完成度により評価する。
	（美術） 受験対策としての鉛筆デッサ ン 保育園・幼稚園だよりを作ろ う	デッサンの基本の習得、 ものの見方、子どもに与える絵画表現 の意義を考えていく・ 例にならい四季にあった「えんだよ り」を思案させる。 子供の興味を喚起するようなイラス トや構成を考えさせる。	取組態度。 自主性。 「えんだより」提出。 平常点。	意欲的に取り組んでいるか。 自ら子供対象の表現技法を 体験し、絵を描くことの楽し さを感じ取ることができて いるか。 子供に分かりやすい表現工 夫がなされているか。
	（音楽） ●歌唱 「コールユーブンゲン」 「コンコーネNo.50 中声用」 童謡、日本の歌、輪唱 ●キーボード弾き歌い演奏と 伴奏付け 「きらきら星」 「ももたろうさん」 「むすんでひらいて」	発声の基礎を固めるとともに、様々な リズムや調性に慣れ親しむ。 子ども向けの曲を取り上げ、歌唱表現 を工夫する。 なじみのあるメロディーをキーボー ドで演奏し、簡単な和音と伴奏形を考 える。	観察 キーボード演奏テス ト。ワークシート提 出。	音程やリズムの確実性、旋律 の歌い方の工夫。 歌詞の意味をとらえ、表現を くふうしているか。 旋律のかかわりを感じてい るか。 旋律に対する和音、伴奏形が 適切であるか。視奏力。 自由な創造的表現ができて いるか。

学期	進度（単元・章・項）	指導内容（項目／活動）	評価方法等	評価のポイント
2 学 期	（家庭） 子どもの生活 ともに生活する	生活と養護 生活習慣の形成 健康管理と事故予防 生活と環境 保育の必要性和意義 指導の原理 保育者の役割 家庭保育と集団保育	レポート ワークシート 筆記テスト	レポート課題を与えて調べ学習させ、自分で考える力が付いているかを評価する。 筆記テストについては、保育を学ぶに当たっての基礎的な知識が習得されているかを評価する。
3 学 期	（体育） 進路と自己表現	2学期におけるリトミックを全体に指導できる用実践する。 1年間の反省およびアンケート。	自己評価表・相互評価表を付けさせる。	自分が表現でき、より相手を指導し、正しい技術を習得させることができるか評価する。
	（美術） 紙芝居を作ろう	グループに分かれて、オリジナルストーリーの紙芝居を作る。 子供に分かりやすい展開のストーリーを考えさせる。 話の筋が分かりやすい場面設定をさせる。 端的で的確な構図を考えさせる。（色遣い、塗り方にも気を配るように）	自主性。 平常点。	グループ活動において、自分の役割をきちんと果たせているかどうか。 子供に分かりやすい表現工夫がなされているか。
	（音楽） 歌唱 行事の歌、季節の歌 「記念樹」「思い出のアルバム」	子供達の活動に即した曲を取り上げ、生活の中での“うた”の役割を考え歌唱表現させる。	観察 ワークシート	曲想をとらえ、歌唱表現を工夫できているか。
	（家庭） こどもの福祉	児童観の変遷 児童福祉 児童家庭福祉	レポート ワークシート 筆記テスト	レポート課題を与えて調べ学習させ、自分で考える力が付いているかを評価する。 筆記テストについては、保育を学ぶに当たっての基礎的な知識が習得されているかを評価する。